

# 旭川龍谷高等学校 令和5年度 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必/選	コース
数学	数学演習 α	4	3	選択	特進 A コース
科目の目標	数学 I A の教科書レベルの問題の復習をするとともに、大学入試の基礎から標準レベルの問題を扱い、数学の力を向上させる。				
教科書	数研出版 改訂版 新編数学 I 数研出版 改訂版 新編数学 A	副教材等	数研出版 改訂版 リンク数学演習 I A 受験編		

## 1. 学習の到達目標

数学 I A の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学の有用性を認識するとともに、それらを活用できる。

## 2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
数と式	16	4	数を実数まで拡張する意義を理解できるようにする。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○
集合と命題	16	5	集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。	○	○	○
2次関数	16	6	2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○
図形と計量	12	7	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○
データの分析	8	8	統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。	○	○	○
場合の数と確率	16	9	場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○
場合の数と確率	16	10	上に同じ	○	○	○
図形の性質	16	11	平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○
整数の性質	12	12	整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○
(個別対応)	8	1				